

■ ピアサポート事業

2024年に施行された認知症基本法に基づく国の基本計画では「認知症の人が診断後早い段階で認知症の当事者に出会い、その経験に触れられるよう、ピアサポート活動などを推進する」ことが示されました。

当センターでは、若年性認知症ピアサポート「すまいり〜ホーム」を毎週開催しています。「すまいり〜ホーム」では、認知症と診断されて間もない方や、診断後の不安を抱える方とその家族に対し、同じ認知症当事者であるピアサポーターが自身の経験や思いをもとに、傾聴やアドバイスを行います。精神的不安の軽減や、地域活動への参加のきっかけとなるよう支援しています。

■ 相談した方の声

もしかしたら…と不安でしたが、相談したことで病院に行ってみようと思えました。診断後も地域の相談先につながり、安心して生活ができています。(本人)

本人が安心して話せる場所がなく、家族としても心配でした。相談をきっかけに認知症の本人が集う「リンカフェ」に参加するようになり、仲間と出会い楽しく通っています。(家族)

夫が診断を受け誰にも相談できず不安でたまりませんでした。コーディネーターに相談して、病気のこと、夫の生活、家計のこと…これから先が少し見えてきました。(家族)

従業員が認知症と診断され、コーディネーターに相談しました。今後の働き方や支援について一緒に考えることができ安心につながりました。(企業)

■ 若年性認知症とは

18歳から64歳までに発症した認知症を「若年性認知症」といいます。

アルツハイマー型・前頭側頭型・レビー小体・脳血管性 認知症などがあります。

平均診断年齢は54歳で、働き盛りの世代に発症することが多く、仕事や家族の生活などさまざまな場面に影響することがあります。

電話、メール、来所でご相談をお受けしています。訪問することも可能です。

電話：048-814-1212

月～金 9:00～16:00

年末年始・祝日除く

〒330-0061

さいたま市浦和区常盤3-12-17

日建プリムローズ常盤第3-1F

E-mail: jakunen2017@sage.ocn.ne.jp



JR北浦和駅西口から徒歩約6分です



E-mail



地図



若年性認知症サポートセンターの設置等事業は、埼玉県・さいたま市の委託を受けて公益社団法人「認知症の人と家族の会」埼玉県支部が行っています。

埼玉県・さいたま市

若年性認知症 サポートセンター



さいたま市PRキャラクター
つなが竜ヌウ



埼玉県マスコット
コバトン

若年性認知症と診断されたら もしかしたら…と思ったら

埼玉県・さいたま市 若年性認知症サポートセンター にご相談ください

若年性認知症サポートセンターでは

本人・家族

- 「もしかして認知症？」と不安に思っている
- どのような医療機関を受診したらよいのか分からない
- 若年性認知症と診断されたが、今後どうしたらよいかわからない
- 今の会社で働きたいがどうしたらよいかわからない
- 相談先が分からない

医療・福祉関係者

- 若年性認知症の方の支援方法を知りたい
- 社会保障制度や社会資源の情報を知りたい
- 様々な関係機関と連携して、本人や家族の支援をコーディネートしてほしい

職場・企業

- 「仕事でミスが増えた」など気になる社員への関わり方について相談したい
- どのような医療機関への受診を促したらよいかわかりたい
- 社員が若年性認知症の診断を受けたので相談したい



若年性認知症支援コーディネーターは こんな活動もしています

本人や家族の不安に対応



ご本人やご家族の不安な気持ちを伺い、これからのことを一緒に考えます。暮らしを支える社会保障制度をご案内し、お住まいの地域の相談機関と連携して支援します。本人同士がつながる「リンカフェ」、家族同士がつながる「家族交流会」も開催しています。

医療・福祉関係者との連携について



医療機関、お住まいの地域包括支援センター、ケアマネジャー、障害の相談支援事業所などと連携して支援します。看護師、社会福祉士などの専門職が医療と福祉の橋渡しとなり、ご本人を支える「チームづくり」をサポートします。

就労支援



ご希望に応じて、会社との面談に同行します。また、社員向けに認知症への理解を深める研修も実施しています。退職後は、福祉的就労などへの再就職に向けて、地域の相談機関と連携します。

社会参加に関する支援



同じ経験をもつ仲間同士が安心して話し合い、やりたいことに挑戦することができるよう「リンカフェ」を週1回開催しています。社会に向けてご本人の声を届ける活動も応援しています。